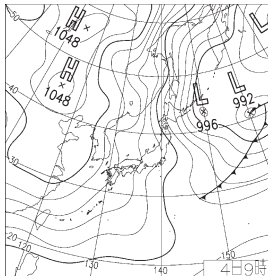


日々の天気図

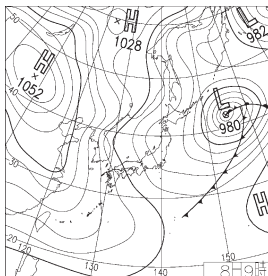
— No. 49

2006年2月

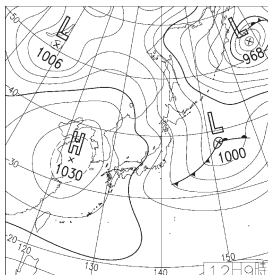
- ・3日～4日, 4日12時までの24時間に長野県飯山市64 cmの大雪。
- ・7日, 低気圧の東進により金沢市37.9 m/s, 東京都三宅村33.6 m/s。
- ・8日, 強い寒気により大雪。21時までに岐阜県白川村62 cm/24 h。
- ・26日, 低気圧通過により高知県土佐山田町228 mmの日降水量。
(気象庁予報部予報課)



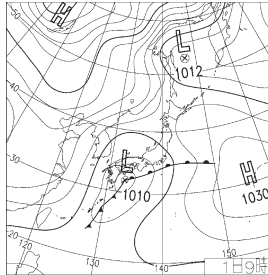
4日(土)盛岡 最低-13.8℃
冬型気圧配置で寒気強く、東北や近畿ではこの冬1番の冷え込みとなったところも。日本海側を中心に雪が続き、長野県飯山市では12時までに64 cm/24 hの降雪。



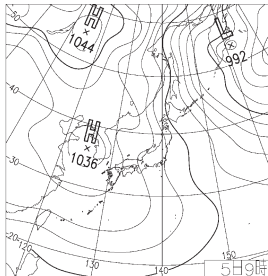
8日(水)東海・中国地方で大雪
北海道東で低気圧発達。西日本中心に冬型気圧配置強まる。東海・中国地方で大雪の所も。岐阜県白川村で62 cm/24 h(21時迄)、広島庄原市高野で55 cm/24 h(18時迄)など。



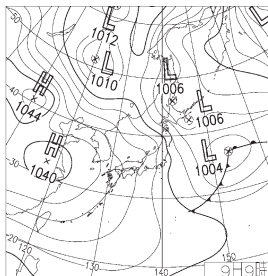
12日(日)北日本 冷える
北海道稚内市上空約5000 mで-41℃、茨城県つくば市で-30℃の寒気が流入。北日本は最低気温が平年より5～6℃低い所も。釧路支庁釧路市で-18.3℃などこの冬1, 2番の寒さ。



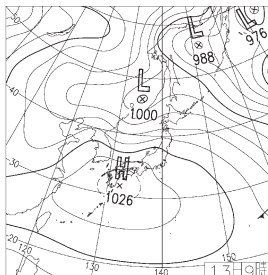
1日(水)北日本の太平洋側大雪
発達中の低気圧の影響で西日本や東日本では曇りや雨。北日本では雪。岩手県一関市の降雪2日9時までに39 cm/24 h。東京都八丈町で最大瞬間風速35.0 m/s。宮崎市でウメが開花。



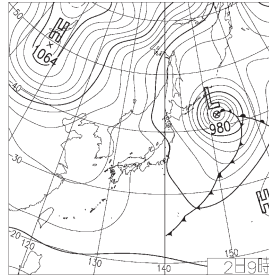
5日(日)積雪4mを超える
寒気による筋状雲が日本海一面に。また、西日本～北日本の太平洋側にも広がる。日中は全国的に平年より1～6℃低い気温。積雪。青森市酸ヶ湯で441 cm, 新潟県津南町で416 cm。



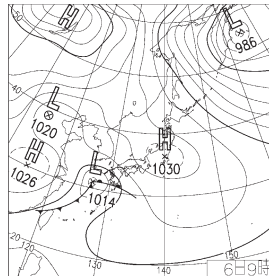
9日(木)全国的に低温
日本付近に寒気が流入。札幌市上空約5000 mで-48℃、茨城県つくば市でも-31℃。最高気温は大阪市6.3℃、福岡市6.1℃、東京大手町7.4℃など平年より2～5℃低い。



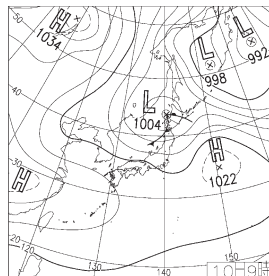
13日(月)移動性高気圧
四国の南海上の移動性高気圧に覆われる。関東から西は晴れ。北日本は気圧の谷の接近で雨や雪。全国的に気温高く、2月下旬～3月中旬並み。東京都大島町でウメ開花。



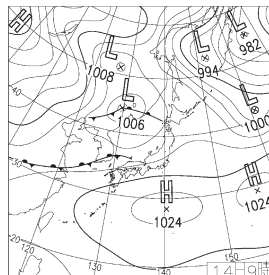
2日(木)低気圧 猛烈に発達
太平洋沿岸を中心に雨を降らせた低気圧は、三陸沖で猛烈に発達し24時間で30 hPa深まり9時には980 hPaに。長崎市, 高松市, 静岡市で平年より10日前後遅く、ウメが開花。



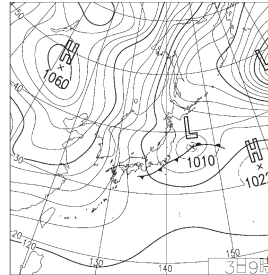
6日(月)全国的に雨や雪
低気圧が発達しながら本州南岸を北東進。鹿児島県出水市で29.5 mm/1 h, 8時までに北海道空知支庁夕張市庶の谷で36 cm/24 hの降雪。一部を除き平年より2～7℃低い最高気温。



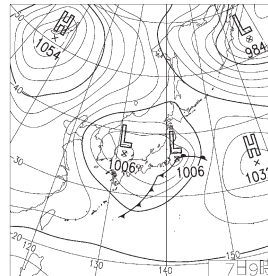
10日(金)北海道, 強い降雪続く
北海道では低気圧の通過で後志支庁を中心に強い降雪。小樽市で7時までに24 cm/3 h, 秋田県仙北市乳頭温泉で雪崩, 仙北市角館で13時までに23 cm/12 hの降雪。



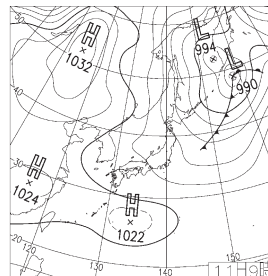
14日(火)北日本 気温高め
南海上の高気圧の中心は父島付近まで東進。代わって西から気圧の谷が接近。西日本や北陸では雨の所も。北日本は雪。福岡市, 大分市でウメが平年より10～16日遅く開花。



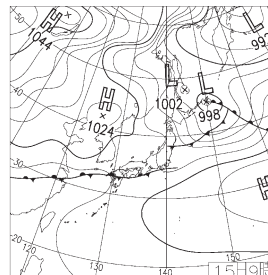
3日(金)北海道上空-45℃の寒気
上空約5100 m付近に流入。冬型気圧配置が強まる。日本海側中心に再び風雪強まる。長野県飯山市で50 cm/日の降雪。新潟県佐渡市相川で最大瞬間風速33.6 m/s。



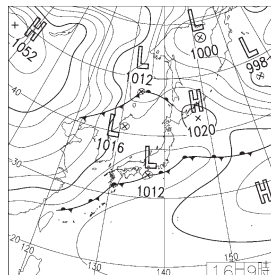
7日(火)深い気圧の谷
本州南岸と日本海西部の低気圧の影響で、全国的にほぼ曇りで所々で雨や雪。西日本から寒気が入り金沢市で最大瞬間風速37.9 m/s。東京大手町で平年より9日遅くウメ開花。



11日(土)トリノで冬季五輪開幕
北日本で冬型持続し、北海道は真冬日。西日本～東日本太平洋側は概ね晴れて3月上～中旬の暖かさ。日本海側は曇りや雨や雪。ほぼ平年並みの寒さ。南西諸島は曇りや雨。

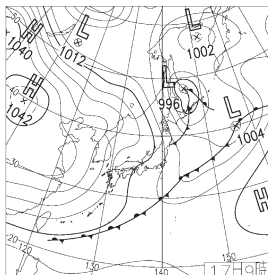


15日(水)静岡県6月中旬の気温
全国的に気温が高めで、関東甲信、東海の一部で5月～6月中旬並みの気温。静岡市で24.6℃, 熱海市網代で24.3℃, 千葉市で20.5℃, それぞれ2月の最高気温の極値を更新。



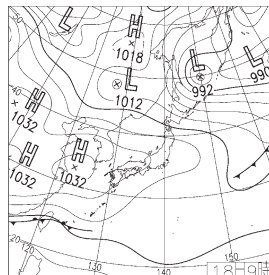
16日(木)気温 平年並に

低気圧や前線の影響で全国的に曇りや雨、北日本では雪の所も。気温は一転して一部を除き平年並みに、山口県下関市で平年より16日遅くウメが開花。



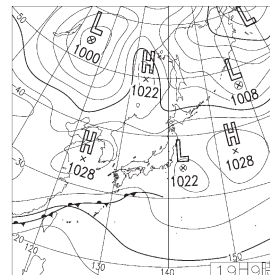
17日(金)北海道 暴風雪

北日本中心に冬型の気圧配置。北陸や北日本では雪。留萌支庁留萌市で最大瞬間風速26.5 m/s。気圧の谷の影響で山陰と関東でも所々で雨。山口県下関市でツバキが開花。



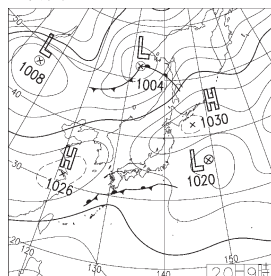
18日(土)気象衛星2機体制に

西から高気圧に覆われるが、日本付近は気圧の谷。全国的に曇りで西日本は平年より3-5℃低い気温。横浜市で平年より11日遅くウメ開花。運輸多目的衛星2号機打上げ成功。



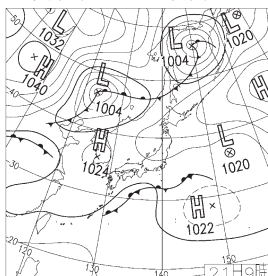
19日(日)南海上に前線停滞

西日本は曇りで沿岸部では雨の所も。東日本は、関東沿岸部で曇った他は晴れたが午後曇り。北海道を気圧の谷が通過。空知支庁幌加内町で朝9時まで61 cm/24 hの降雪。



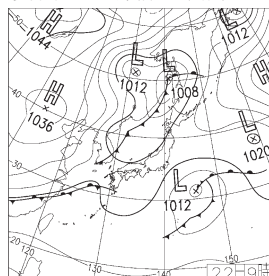
20日(月)東日本、雨の月曜日

南海上に前線、停滞。西日本は午前中雨、東日本では午前中から夜遅くまで雨、一部で雪。北日本は晴れや曇り。晴れた北日本では3月中旬から4月上旬の暖かさ。



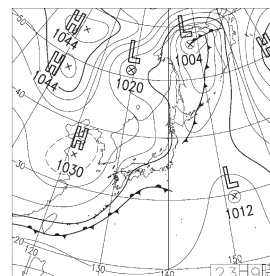
21日(火)札幌市など冬日脱出

北日本から西日本の日本海側は帯状の高気圧に覆われ晴れ。その他は曇り。北海道は最低気温が4月中旬～下旬並で多くの所でアラスの気温に。また最高気温も高く4月中旬並み。



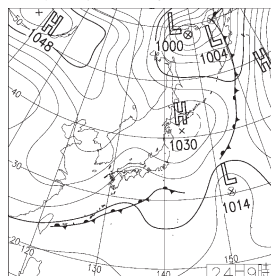
22日(水)春の陽気

低気圧が日本の南東海上に抜けた。各地晴れて全国的に3月～4月下旬並みの気温。ただし、北海道はサハリン付近を東進した別の低気圧の影響で曇りや雨の所も。



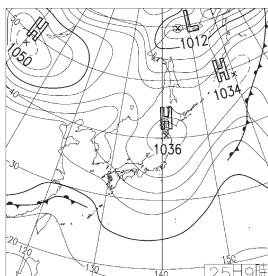
23日(木)4月の最低気温

北日本は寒冷前線が通過し曇り所々で雨や雪。南西諸島は前線の影響で雨の所も。その他は曇りや晴れ。前日に続き暖かく、全国的に最低気温は4月上旬～中旬並み。



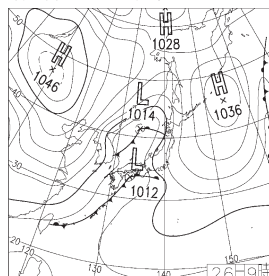
24日(金)ひまわり7号誕生

日本海から高気圧に覆われる。北海道東部～西日本の日本海側は晴れ。その他は曇り。関東～西の太平洋側は所々雨。運輸多目的衛星2号機は静止軌道に入り「ひまわり7号」に。



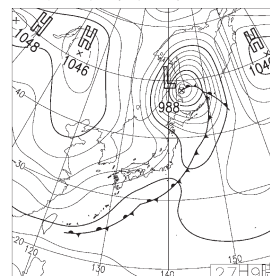
25日(土)穏やかな土曜日

南西諸島、九州南部は曇りや雨、その他は、日中は移動性高気圧に覆われ概ね晴れ。おおむね3月上旬～4月上旬並みの気温。鹿児島県名瀬市でモンシロチョウ初見。



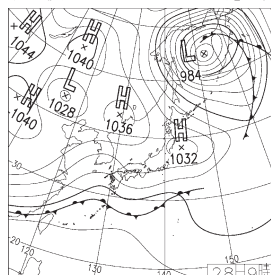
26日(日)四国・近畿・東海大雨

前線を伴った低気圧が日本海と本州南を北東進。全国的に曇りや雨。高知県土佐山田町で229 mm/24 h (14時迄)、室戸市室戸岬で最大瞬間風速33.6 m/s。広島市でウメが開花。



27日(月)サハリンで低気圧発達

北海道中心に強い冬型。北陸から北の日本海側は雪、その他は曇りや晴れ。北日本は風強く、十勝支庁広尾町で最大瞬間風速33.2 m/s。水戸市で平年より25日遅くウメ開花。



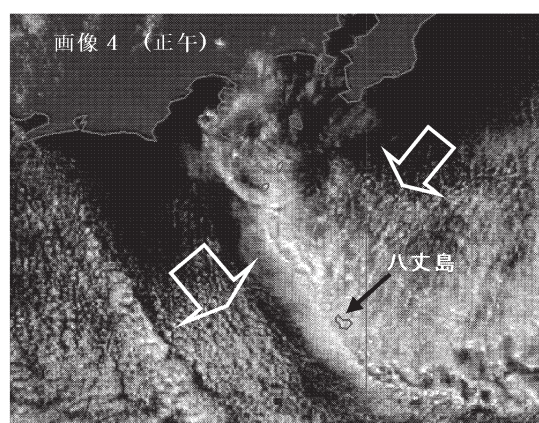
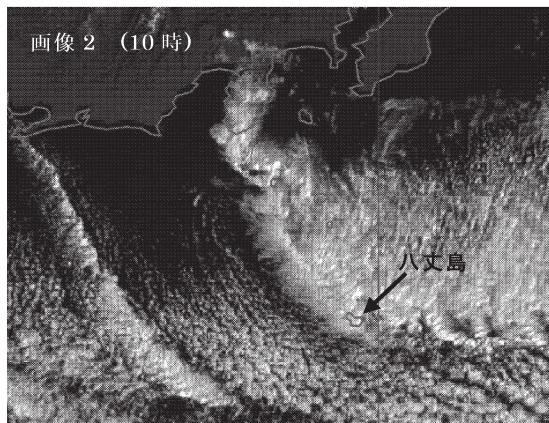
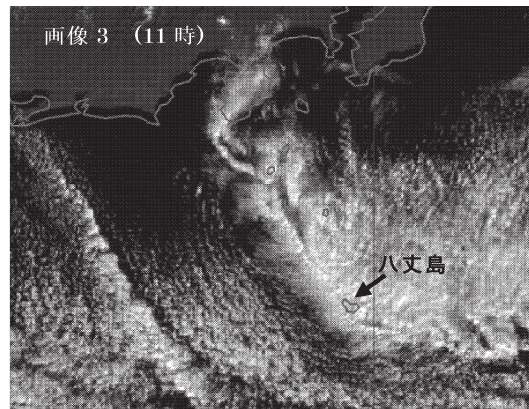
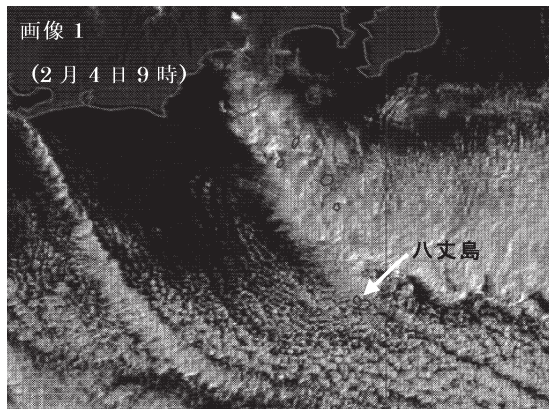
28日(火)西日本から下り坂

高気圧が東北に張り出し、九州の西には気圧の谷が進む。東北部や四国は晴れ、その他は曇りの所多い。前橋市で平年より11日遅く、神戸市では6日遅くウメ開花。



今月のひまわり画像—2006年2月

春は名のみ（立春の大寒波）



2月4日は二十四節季の1つ「立春」である。暦のうへではこの日から春のはずだが、日本列島は寒気に覆われ続け、この日も北日本を中心に大雪による列車の運休などが相次いだ。東京都の八丈島では朝から雪が降り始め15時には積雪が3 cm となり1946年3月8日以来の記録に並んだ。

2月4日9時～正午まで各時刻の八丈島付近の衛星可視画像を掲げた(画像1～4)。伊豆半島から南南東へ白く輝く対流雲列が扇形に伸びているが、この雲域の北側では北東風が、南側では北西風が吹いていることが下層雲の走向から推定できる(画像4の□参照)。積雪をもたらした対流雲列は画像1では八丈島の北側

にあるが、画像4では完全に八丈島の南まで南下している。八丈島のアメダス観測によると9時には西北西(3.7 m/s)の風が吹いていたが、風向はその後東に転じ、10時30分には北東の風(0.9 m/s)となった。

寒気に伴う北西風が日本列島の地形の影響を受けて関東の東海上で収束し対流雲列を発生させることは比較的よく観測されるが、この対流雲列により八丈島で積雪を観測することはあまりない。今回は寒気の勢いが強く下層においても積雪をもたらすほどの寒気(850 hPaで -6°C 程度)が八丈島付近まで達したことが原因の1つと考えられる。

(気象衛星センター)